

【あきたこまちR、他品種とも初期生育は良好】

1. 水稻の生育状況

本年の田植えは5月15日頃より開始されましたが、盛期については例年に比べ3日程度遅くなりました。

あきたこまちRの生育につきましては、草丈・茎数が平年をやや下回ったものの「平年並」に確保できており、葉齢から見た生育も「平年並」となっております。

昨年同時期の調査では確認できなかった分けつについては、発生を確認できたほ場が多数あり、「初期生育は概ね良好」に推移しております。現在、表層剥離や藻類の発生が目立ち、ほ場によっては葉色が淡い様相にありますので、つぎを参考に今後の管理を心がけてください。

水稻定点調査圃の生育状況(6月9日現在) ※あきたこまちRの平均田植日は5月21日
※平年値は最高値と最低値を除く過去10年の平均 ※あきたこまちRはあきたこまちとの比較

品種(平均)	草丈(cm)		茎数(本/㎡)		葉齢(葉)	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年
あきたこまちR	22.9	24.2	90	92	5.5	5.5
(慣行)	21.8		98		5.5	
(側条ベスト等)	23.4		87		5.4	
前年比(差)	101%		111%		+0.1 葉	
平年比(差)	95%		99%		+-0 葉	
たつこもち	29.8	27.2	109	96	5.5	5.5
きぬのはだ	26.0	26.6	100	100	5.3	5.7
ときめきもち	22.5	24.4	87	91	5.7	5.4
サキホコレ	24.4	24.4	109	121	5.5	5.8

2. 今後の技術対応

1) 水管理

表層剥離の発生が多く見られる圃場については、水の入替えや浅水管理を実施し、茎数確保に努めてください。

2) 還元障害対策

還元障害(ガス害)による酸素不足で分けつの発生等が少ない圃場では、晴天日に3日～4日程度落水し、その後入水するなど改善に努めてください。

3) その他病虫害防除

イネヒメハモグリバエをはじめとした食葉性害虫の被害は確認されておられません。食害が顕著に見られた場合はつぎの薬剤を散布し防除に努めてください。

【トレボン粉剤 3kg/10a、トレボン粒剤 2～3kg/10a】

4) いもち病対策

補植用苗を長く圃場に置くと、いもち病の発生原因となりますので、速やかに補植を終了し、苗を処理してください。